インターネットと出版

インターネットが出版メディアとして注目され始めたのは、WWW*の登場以降である。WWWはマルチメディア情報を表現できるし、コンピュータの機種やOSに依存しない操作性が、完全ではないが確保されている。また、ハイパーリンク機能を持っているので理論的には無限の情報を収納できる可能性がある。

事実、最近のWWWの表現力はRealAudio*に代表される音楽再生、Streamworks*のような動画再生にまで進んでいる。つまり、紙メディアという範囲にとどまららずラジオ、テレビなどにも影響をおよぼしつつあり、出版という概念を揺さぶっている。

出版する側から見たもう1つの大きな特徴は、流通や小売りの機能まで内包していることである。いまやインターネットは世界を網羅しており、制作された情報は瞬時に世界中の読者に届く。この点が、インターネットと出版の可能性をいっそう魅力的なものにしている。

インターネット上の出版物の動向

この1年の間に、インターネット上に様々な出版物が登場した。

(1) 電子新聞

米国カリフォルニアのサンノゼ・マーキュリーという地方紙は、WWW版の新聞を発信し世界に名をはせた。USA Todayなどのメジャー各紙もそれに追随した。日本でも、朝日新聞をはじめ、毎日、読売各紙も競ってWWW版新聞を発信している。WWW新聞は一覧性には劣るものの検索性に優れており、最近では出社時にまずWWW新聞に目を通すという人も少なくない。

一方、電子メールを利用した電子新聞も登場している。電子メールの場合、読者のメールボックスまで直接配送することができるので、WWW新聞より既存の新聞のイメージに近い。インプレスが始めたインターネットウォッチは、毎日、2万部程度を電子メールで配信している。

(2) Webマガジン

E-zine (イージン) と呼ばれることもあるが、インターネット上の雑誌である。 米国のHOTWIRED*が有名だが、日本でもハイテク系だけでなく、車、不動産、 一般週刊誌など様々な試みがなされている。WWW新聞との違いは、情報のアッ プデートが毎日ではない点だが、傾向としては特集ものやゲームなどの楽しめる 要素を入れているものが多い。

(3) 個人出版

前記したようにインターネットは流通機能を持っているので、かならずしも出版社という形態は必要なく、個人でも出版ができる。日本での個人出版は数万人の規模に達していると思われ、アマチュアを中心に、プロバイダーのサーバーを間借りする形で発展している。

www

p. 10参照。

RealAudio

p. 120参照。

Streamworks

米国Xing Technology社の動画再生用ソフトウェア。電話回線とモデムで使うことができ、最近では坂本龍一氏のコンサートや大阪国際女子マラソンのライブ放送に利用された。

HOTWIRED

雑誌WIREDのWWW版として登場し話 題になったE-zine。雑誌とは別の独自企 画を展開している。

(http://www.hotwired.com/)

(4) 売上と広告

一般に、出版物は媒体の売上と広告収入で金銭的に成り立っている。オンラインでの料金決済がまだコンセンサスを得ていないこともあり、インターネット上の出版では広告が大きな要素となっている。WWWの広告は、広告プレートや広告ボタンと呼ばれるグラフィックの「電子看板」をページに貼り付けるのが主流である。ほとんどの場合、それはクライアントのページにリンクされている。

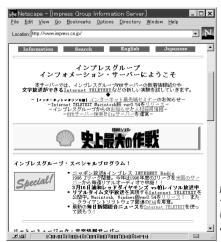
以上のように、現状では既存の出版物のメタファーをインターネット上に再現している例が多いが、一部には双方向性を意識した読者参加型のものも登場してきている。今後は出版物の概念が拡張されるとともに、まったく新しい形態のデジタル出版物が登場してくると思われる。

(井芹昌信)



WWW新聞の例

朝日新聞のWWW新聞。基本的には通常の新聞記事の転載だが、1日に数回アップデートされており、情報が早い。広告の掲載も積極的。(http://www.asahi.com/)



電子メール新聞の例

インプレスが発行する電子メール新聞。発行部数2 万部。半年購読2400円で、広告も掲載している。 (http://www.watch.impress.co.jp/)

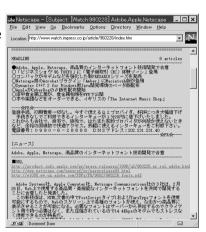


個人出版 (ホームページ) の例

商売をしているわけではないので、このように自分 の趣味で発信している例が多い。

(http://home.impress.co.jp/staff/hiroe/index.htm)

広告プレートの例(画面中央) プレートの内容は読者が見るたびに変わる。これ は、少ない面積で数多くの広告を出すための仕組 みである。





Webマガジンの例

リクルートの不動産情報誌「ふぉれんと」のWWW版。30万件の物件から検索することができ、検索結果を電子メールでレポートするサービスもある。(http://www.recruit.co.ip/FB/)



「インターネット白書ARCHIVES」ご利用上の注意

このファイルは、株式会社インプレスR&Dが1996年~2012年までに発行したインターネット の年鑑『インターネット白書』の誌面をPDF化し、「インターネット白書 ARCHIVES」として以 下のウェブサイトで公開しているものです。

http://IWParchives.jp/

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- ●記載されている内容(技術解説、データ、URL、名称など)は発行当時のものです。
- ●収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の 著作者(執筆者、写真・図の作成者、編集部など)が保持しています。
- ●著作者から許諾が得られなかった著作物は掲載されていない場合があります。
- ●このファイルの内容を改変したり、商用目的として再利用したりすることはできません。あくま で個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- ●収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用される際は、出典として媒体名お よび年号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレスR&D)などの情報をご明記くだ さい。
- ●オリジナルの発行時点では、株式会社インプレスR&D (初期は株式会社インプレス)と 著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めましたが、すべての情報が完全 に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接的および間接的 な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

お問い合わせ先

株式会社インプレス R&D | 🖂 iwp-info@impress.co.jp

©1996-2012 Impress R&D, All rights reserved.